

南相馬市 認知症初期集中支援事業について

【 認知症初期集中支援事業の目的 】

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で、暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的とする。

1. 認知症初期集中支援チームの概要

- (1) 実施主体…南相馬市
- (2) 委託先…原町西地域包括支援センター
- (3) 協力機関…認知症疾患医療センター（いわき市）
- (4) チーム員の構成 （1チーム設置）

①医療職 2名

- ・原町東地域包括支援センター 亀井保健師
- ・原町西地域包括支援センター 早川看護師

②福祉職 2名

- ・小高地域包括支援センター 平瀬主任介護支援専門員
- ・鹿島地域包括支援センター 小野田主任介護支援専門員

③サポート医 1名 ・雲雀ヶ丘病院：熊倉医師

- (5) 相談受付（各地域包括支援センター）

- (6) 支援内容
 - ・医療機関の受療支援
 - ・本人、家族介護者への支援
 - ・介護サービス等の利用支援
 - ・生活環境改善 等

※支援期間は、概ね6か月程度

認知症初期集中チームの「初期」の意味は？

- ①認知症の発症後のステージとしての早期段階
- ②認知症の人への関わりの初期

H28年度

○チーム員活動の目標

12ケース/年間

○チーム員会議

6回/年（奇数月）

2. 認知症に関する正しい知識の普及及びチーム員の啓蒙

- (1) 専門職向け講習会 *予定：6月3日（金）〔認知症の方への対応、支援チームについて〕
- (2) 市民向け講演会 *予定：10月16日（日）〔認知症の正しい理解と対応〕

3. チーム員検討委員会

南相馬市では「認知症初期集中支援チーム検討委員会」は地域包括ケアシステム推進会議を活用することといたしました。事業開始時、中間報告、事業評価実施後の報告を行う予定です。

【検討委員会の内容】

- ・支援チームの運営や活動状況に関する報告。
- ・地域の医療、福祉、介護等の関係機関や関係団体と事業推進に係る検討。

もの忘れなどで不安を感じても 住み慣れた地域で生活できるように

南相馬市 認知症初期集中支援チーム

がサポートします！

● 認知症初期集中支援チームとは？

認知症専門医と、専門知識を持つ医療職・介護福祉職で構成されたチーム員が、ご家庭を訪問し、相談を行いながら、生活の中での困りごとに対する初期支援を集中的に行います。



● 対象となる方は？

在宅で生活をしている40歳以上の方で、認知症の症状などでお困りの方です。

たとえば…

- ・認知症疾患の診断を受けたいが、病院の受診をこぼんでいる方
- ・認知症の治療を中断している方
- ・適切な介護サービスを利用できていない方
- ・サービスの利用や介護に困っている方

●●● 認知症は早期発見・早期診断・早期対応が大切です ●●●

まずは**地域包括支援センター**にご相談ください！

原町西地域包括支援センター

北町・小川町・本町・国見町
国見団地・南町・本陣前・橋本町
太田地区・石神地区

電話 25-3329

原町東地域包括支援センター

栄町・旭町・青葉町・錦町
桜井町・日の出町・高見町
二見町・上町・西町・三島町
大町・東町・仲町・上渋佐
下渋佐・大鷲地区・高平地区

電話 24-3390



小高区地域包括支援センター

小高区の全域

電話 44-1700

鹿島区地域包括支援センター

鹿島区の全域

電話 46-4600

認知症初期集中支援チーム支援の流れ

